

## 2024 年春 グローバル理工人育成コース 超短期海外派遣 ジョージア工科大学リーダーシッププログラム 募集要項

### = 重要 =

・本プログラム参加にあたっては、必ず応募説明会に参加，および奨学金支給に関する説明会動画を視聴し，家族・保証人及び指導教員に相談し，同意を得ること。

応募説明会及び夏の派遣報告会：@W8E-101 2023年10月11日（水）12:40-14:30  
・12:40～13:10(説明会)・13:10-14:30(夏の派遣報告会)

奨学金支給に関する説明動画：10月11日(水)の説明会以降に公開

[http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship\\_shortterm\\_2024\\_spring/](http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship_shortterm_2024_spring/)

・感染症拡大，自然災害等の影響により，渡航が中止になる場合や，渡航開始後であっても本学の判断で途中帰国を指示する可能性がある。またその際に，**自己負担のキャンセル料が発生すること**を了承の上，応募すること。

・以下の状況となった場合，渡航を中止する，また渡航期間或いは渡航先を変更することになる可能性がある。

(ア) 滞在（予定）地域が日本からの渡航者・日本人に対する入国制限措置及び入国・入域後の行動制限を発令した場合

(イ) 本学が危険と判断した場合

(ウ) 滞在（予定）地域の危険情報レベルが2以上になった場合

(参考:外務省 海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

(エ) 派遣先大学，機関等が受け入れを拒否した場合

・以下の大使館の URL には最新情報と，日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限が記載されているので，必ず確認すること。

[在アメリカ日本国大使館] [https://www.us.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

[在アトランタ日本国総領事館] [https://www.atlanta.us.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.atlanta.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

【概要】 本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施する。ジョージア工科大学におけるリーダーシップ養成を主な目的として，講義受講(英語)，研修，施設訪問，学生交流等を予定。本プログラムの参加者を下記の通り募集する。

【派遣先】 アメリカ合衆国（アトランタ）

【渡航期間】 2024年3月5日（火）～ 3月15日（金）（9泊11日）

【費用】 35～40万円前後 \*為替レートによる

航空券代,宿泊費,リーダーシッププログラム費用

\*ビザ代,海外旅行保険料,諸経費(現地食費等)は含まれない。

\*費用支援制度については下記【海外留学支援制度（協定派遣）について】を参照のこと。該当者は奨学金 8 万円が支給される場合がある。

\*大学の指定する海外旅行保険に加入する必要がある。

\*宿泊先はプログラム指定ホテルとなる。(2 名 1 室)

#### 【応募資格】

1. 東工大正規課程学生(学士課程 3~4 年生, 及び修士課程の学生。学士課程 1~2 年生等で参加希望する方はご相談ください)。
2. 現地で英語授業を聴講,英語で議論できる程度の語学力 (TOEIC750 点または TOEFL-iBT80 点程度以上) を有すること。
3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている者を優先する。
  - ① グローバル理工人育成コースの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
  - ② ポートフォリオに必要事項 (グローバル理工人育成コースの志望動機, 所属時ルーブリックの入力) をしている。

\*グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は, 以下の URL にて要確認。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/> (応募者多数の場合は, 超短期派遣に初めて参加する者を優先する。)

#### 【単位付与】

・学士課程 1 年生および 2 年生の参加については, 「グローバル理工人海外研修ベーシック IB (1 単位)」の単位が付与される。

・学士課程 3 年生及び 4 年生, また修士課程の学生の参加については, 「グローバル理工人海外研修 IB (1 単位)」の単位が付与される。学士課程 4 年生の参加については, 以下の条件を満たす必要がある。

- 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず, 卒業できる見込みがある。
- 2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。

・上記にかかわらず「グローバル理工人海外研修」等ではなく所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。

【応募方法】 T2form (<https://www.t2form.titech.ac.jp/sv/716733?lang=ja>) から申し込むこと。

【募集人数】 10 名 (最少催行人数 8 名に達しない場合, プログラムを中止する場合がある。)

【選考方法】 書類審査及び面接 (面接は書類審査通過者のみに実施する。)

【応募締切】 2023 年 10 月 31 日 (火) 午前 9:00

\*応募に際しては, 申請書類に指導教員, またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。その際, 下記書類を必ず当該教員に確認いただくこと。

[http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/AA\\_letter\\_spring2024.pdf](http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/AA_letter_spring2024.pdf)

\*留学生の参加については, 渡航先のビザ取得期間等を確認の上, 応募の可否を自身で判断すること。

【面接予定日】2023年11月6日(月)～8日(水) 大岡山キャンパス：対面

【結果通知】11月10日(金)16時までにメールで連絡

【本プログラムに関わる活動について】(注：日程は変更になる可能性があります。)

上記単位付与のために、本プログラム参加者は、渡航期間を含む下記の国際教育に関わる活動への参加が義務付けられる。

- ・2023年10月11日(水)12:40-14:30 応募説明会及び夏の派遣報告会(場所：W8E-101)
- ・2023年12月5日(火)12:40-13:30 書類説明会(JASSO奨学金/東工大基金対象者)  
(場所W241)
- ・2024年1月10日(水)17:30-19:10 グローバル理工人育成コースシンポジウム(オンライン開催)
- ・2024年1月11日(木)12:40-13:30 T2appによる留学手続きに関する説明会  
(場所：W8E-101)
- ・海外安全オリエンテーション @zoom アーカイブ動画を視聴  
<https://tokyotech.app.box.com/s/cud7rynjv855hfearvbp6qqkv74pekll>
- ・2023年12月～2024年3月：事前学習、グループワーク各5回(日程は別途通知)
- ・2024年3月：現地研修
- ・2024年5月：成果発表会リハーサル
- ・2024年5月：成果発表会

【プログラム日程】(調整中。変更の可能性あり)

日	訪問先
3月5日(火)	羽田発 タラアトランタ着
3月6日(水)	キャンパスツアー、ワークショップ、歓迎会
3月7日(木)	リーダーシップ養成アスレチックコース、ワークショップ
3月8日(金)	Martin Luther King, Jr. National Historic Site 等訪問
3月9日(土)	デルタ航空博物館、アトランタ市内観光等訪問
3月11日(月)	ワークショップ、プレゼンテーション準備
3月12日(火)	ワークショップ、コカ・コーラ社訪問
3月13日(水)	最終プレゼンテーション & 送別会、InVenture Prize Finals Event(ジョージア工科大発明コンテスト) 聴講
3月14日(木)	アトランタ発
3月15日(金)	羽田着

### 【海外留学支援制度（協定派遣）について】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（協定派遣）の支援対象であり、以下の要件を満たす者については、この制度により留学に係る費用の一部を奨学金（及び渡航支援金※）として支援する。

#### 奨学金の支給要件

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（特別永住者を含む）。
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上である者。

#### 〔成績評価係数の算出方法〕

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

計算式：(「評価ポイント3の単位数」×3)+(「評価ポイント2の単位数」×2)+(「評価ポイント1の単位数」×1)+(「評価ポイント0の単位数」×0)/総登録単位数

※ 学士課程1年生の場合は、前学期の成績の成績評価係数を算出する。

3. 海外渡航を含め、31日以上(説明会・事前学習等を含む)の国際教育に関わる活動に参加すること。そのため、「グローバル理工人研修(ベーシック)IB」等の海外派遣に関する単位と共に、超短期海外派遣奨学金支給指定科目より、渡航前に実施される科目を1科目履修し、必ず単位を取得すること。超短期海外派遣奨学金支給指定科目：

#### 【3-4Q 指定科目】

[http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/3\\_4Qcourse.pdf](http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/3_4Qcourse.pdf)

#### 【1-2Q 指定科目】

[http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/1\\_2Qcourse.pdf](http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/1_2Qcourse.pdf)

4. 奨学金の併給について

- 4-1. プログラム参加にあたり、本制度以外の奨学金を受ける場合、支給額が本制度による奨学金額を超えないこと。本制度以外の奨学金支給団体側が、併給を認めない場合があるのでしっかり確認すること。

※ 渡航に係る費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない。

- 4-2. JASSO 国内の奨学金「第一種・第二種奨学金」（貸与型）との併給は可能。

なお、留学期間中の貸与を休止する場合は、学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。

- 4-3. JASSO 国内の奨学金「給付奨学金」との併給は認められない。留学期間中の給付を停止する場合は、本制度による奨学金支給を受けることができる。学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。

5. 以下の家計基準を満たす場合には、本制度による奨学金に加えて、「渡航支援金」（16万円）の支援対象となる可能性がある。

#### (家計基準)

家計支持者全員の収入・所得金額の合計が

給与所得のみの世帯：年間収入金額（税込）が300万円以下

給与所得以外の所得を含む世帯：年間所得金額（必要経費等控除後）200万円以下

※ 家計支持者の収入・所得を証明する書類の提出が必要。取り寄せに時間がかかる場合もある為、対象となる可能性がある場合は、プログラム参加決定後すぐにグローバル人材育成推進支援室に申し出、必要書類を確認すること。

奨学金の支給要件Ⅰのみを満たさない場合（留学生※）については、東京工業大学基金より支援するが、その他の要件は JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）同様である。

※国費外国人留学生については、国費外国人留学生（日本政府（文部科学省）奨学金）制度の規定により、本プログラムの為の支援はない。

#### プログラムの奨学金額（JASSO 規定に基づく）

8万円（アトランタ）

#### 支援対象者決定までのスケジュールについて

11月10日（金） プログラム参加可否のメール通知時に、海外留学支援制度（協定派遣）また東京工業大学基金の支援可否を通知する。

#### **特記事項**

- ◆ 海外留学支援制度（協定派遣）の支援を受ける場合、必要な手続き、提出物があるため、「書類説明会（JASSO 奨学金/東工大基金対象者）」に必ず参加し、案内する期日までに提出物を必ず提出すること。
- ◆ 支給要件を満たさない事が後日判明した場合、また、履修状況等により本学において単位認定出来ない場合には、奨学金の支給後であっても、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
- ◆ **本プログラムへの応募を検討する際は、必ず奨学金支給条件に関する説明会の動画を視聴すること。**

[http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship\\_shortterm\\_2024\\_spring/](http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship_shortterm_2024_spring/)

#### **【問合せ先】**

グローバル人材育成推進支援室・留学情報館（Taki Plaza B1F）メールボックス：TP-004

電話：03-5734-3520 / email: [ghrd.sien@jim.titech.ac.jp](mailto:ghrd.sien@jim.titech.ac.jp)